【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公開番号】特開2010-210694(P2010-210694A)
【公開日】平成22年9月24日(2010.9.24)
【年通号数】公開・登録公報2010-038
【出願番号】特願2009-53972(P2009-53972)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　21/10　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　21/00　３１８
Ｇ０３Ｇ　21/00　３１４
Ｇ０３Ｇ　21/00　３７０

【手続補正書】
【提出日】平成24年3月1日(2012.3.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
像担持体と、放電を伴って前記像担持体を帯電させる帯電手段と、帯電させた前記像担持体の表面にトナー像を形成するトナー像形成手段と、トナー像の転写部を通過した前記像担持体の表面に摺擦して転写残トナーを除去するクリーニングブレードと、を備えた画像形成装置において、
前記クリーニングブレードと前記転写部との間で、可変の回転速度で回転して可変の摺擦速度で前記像担持体の表面を摺擦する補助クリーニング手段と、
前記クリーニングブレードの耐用期間の後期において初期よりも前記摺擦速度を高めるように前記補助クリーニング手段を制御する制御手段と、
空気中の水分量を検出する検出手段と、を備え、
前記制御手段は、検出された空気中の水分量が多い状態では、少ない状態よりも等しい使用の累積時間に対する前記補助クリーニング手段の回転速度の増加量を大きくすることを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記制御手段は、前記クリーニングブレードの耐用期間における使用の累積時間が多くなるほど前記補助クリーニング手段の回転速度を高めることを特徴とする請求項１記載の画像形成装置。
【請求項３】
前記クリーニングブレードが配置された交換ユニットに付設した不揮発メモリに前記クリーニングブレードの使用の累積時間が記録され、
前記制御手段は、前記不揮発メモリから読み出した前記クリーニングブレードの使用の累積時間に基づいて前記補助クリーニング手段の回転速度を設定することを特徴とする請求項２記載の画像形成装置。
【請求項４】
前記制御手段は、検出された空気中の水分量が多いほど前記摺擦速度を高めることを特徴とする請求項１乃至３いずれか１項記載の画像形成装置。

【請求項５】
前記補助クリーニング手段がブラシローラであることを特徴とする請求項１乃至４いずれか１項記載の画像形成装置。